

きずな

2010年12月 9日

NO 818

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

12月6日、井原市議会12月定例会が開会しました。会期は12月22日までの17日間です。6日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で市政の状況等を話されました。その内容（概要）は次のとおりです。

本市の予算編成について。

国、県の予算編成の詳細が明らかでない現段階において的確な見通しを立てることは極めて困難であり、歳入面では、国・県支出金が抑制され、また、安定した法人市民税が見込めないなど、自主財源の確保は引き続き厳しいものになると予測されるところであります。

こうした厳しい財政環境の中にあっても、先の市長選挙において新たに掲げさせていただいた6つの施策の柱を実現させるため、井原市第6次総合計画に基づき、健康寿命日本一を目指して「誰もが健康で笑顔あふれる、住みよいまちづくり」を進めることとしております。

このため、来年度の予算編成にあたっては、従来にも増して歳出全体の徹底した洗い直しを行い、制度・施策の抜本的な見直しや各経費間の優先順位の厳しい選択を行うことにより予算配分の重点化・効率化を実施してまいりたいと考えております。

次に、市政の状況等について申し述べます。

高梁市川上町佐屋地区の本市への編入

高梁市長から事務協議の中止について正式に申し入れがあり、高梁市の意思を尊重し、これを受理。

平成19年3月20日に当時の高梁市長から事務協議の申し入れがあり、両市で境界変更に係る問題点の整理を行ってまいりましたが、今日1日、高梁市長から事務協議の中止について正式に申し入れがありました。

佐屋地区住民の気持ちを思えば、悲願であった編入が成就せず残念な結果となったわけですが、高梁市長におかれましては、熟慮を重ねた上での決断だったと推察するところでございます。

私としても、こうした高梁市の意思を尊重し、これを受理したところであります。

井原市特別養護老人ホーム星の郷

スケジュールを定め指定管理者の公募を行う。6月市議会定例会で指定についてのご審議をお願いしたい。

社会福祉法人旭川荘撤退後の9月1日から、市の直営で運営を行っているところでありますが、早急に新たな指定管理者に移行する方針を議会でも申し上げておりましたが、この度、スケジュールを定め指定管理者の公募を行うことといたしました。

来年1月の広報発行にあわせて募集を開始し、選定を経て、6月市議会定例会で指定についてのご審議を賜りたいと考えております。

移行の時期は、準備期間を考慮し、平成24年4月を目標に地域や入居者の方々に安心していただけるような指定管理者への移行に取り組んでまいります。



小田川の環境整備

地元自治会やボランティア組織との協働により小田川の環境整備を行っていききたい。

小田川は、市民にとってかけがえのない財産であり、この恵まれた自然環境を守るため、地元自治会やボランティア組織との協働により小田川の環境整備を行ってまいりたいと考えております。

今年度の整備箇所としましては、芳井町吉井地内の芳水橋付近から築瀬井堰の区間、井原町の大正橋から西江原町の神戸川合流点までの区間において樹木伐採と除根を計画しております。

また、整備後の良好な河川環境を継続するため、小田川沿いの自治会に河川の環境保全作業に関する補助金交付制度を活用していただきたく、制度の概要書を配布することとしております。

2面へ

安来市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザに感染

関係機関や経営体との連絡体制の再点検を行っている。

先月29日に島根県安来市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザに感染した鶏が見つかった件ですが、市としてもこの事態を重く受け止め、今後の動向を注視しつつ関係機関や経営体との連絡体制の再点検を行っております。

有害鳥獣被害防止

防護柵設置補助申請も、昨年の約1.5倍と多くの申請が寄せられており、本定例会に有害鳥獣駆除事業補助金などの補正予算を上程。

本年は春先の天候不順や猛暑による山の餌不足から、全国的にツキノワグマやシカなどが人里へ接近する事例が多く報道されました。

本市におきましては、特にイノシシ被害が多く寄せられ、猟友会駆除班のご協力により、これまでに昨年の1.5倍、447頭もの捕獲・駆除を行っていただきました。

また、防護柵設置補助申請につきましても、昨年の約1.5倍と多くの申請が寄せられている状況であります。このため、本定例会に有害鳥獣駆除事業補助金などの補正予算を上程しておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。



今年度のインフルエンザ

ワクチン接種や手洗いの徹底で予防に努めるとともに感染が疑われるときは早目に医療機関で受診していただくよう啓発に努めます。

市内で11月初旬に学年閉鎖があり、憂慮しておりましたが、それ以降は、流行拡大もほとんどなく落ち着いている状況であります。

他県では、季節性のA香港型を中心にした集団感染が起こるなど、インフルエンザが流行する兆しがみられることから、ワクチン接種や手洗いの徹底で予防に努めるとともに感染が疑われるときは早目に医療機関で受診していただくよう啓発に努めてまいります。

この機会に若干のご報告を申し上げます。

本年もスポーツの秋に本市の若者が各方面で活躍し、市民に大いなる感動を与えてくれております。

まず、**新体操**においては、本年10月に行われた第28回全日本ジュニア新体操選手権大会の男子団体競技で、井原ジュニア新体操クラブが昨年に続き2年連続4回目の優勝を果たしました。

また、先月開催された全日本選手権には、井原ジュニア新体操クラブや井原高校をはじめ、大学生・社会人を含めると20人も井原市関係者が出場し活躍してくれました。一地域からこれほどの選手が出場するのは非常に珍しく、「新体操のまち いばら」を全国に大いにアピールしてくれました。

さらには、先月7日、本市で開催された岡山県**高校駅伝競走大会**において、興譲館高校陸上競技部女子チームは、全国トップの記録で12連覇を達成、先般の中国高校駅伝競走大会におきましても、他チームを圧倒し岡山県新記録で8連覇を達成するなど期待どおりの成績を残してくれました。

来る12月26日の都大路では、5年ぶりの優勝を目指して、持てる力を遺憾なく発揮して日本一の走りを見せていただけるものと強く確信しているところであります。

次に、「**第25回 国民文化祭・おかやま2010**」についてであります。10月30日から11月7日の9日間にわたり、岡山県全市町村を会場に開催されました。

本市におきましては、「子守唄フェスティバル&サミット」と「彫刻展」を開催し、期間中、約5,800人もの方々にご来場いただき成功裏に終え、全国に井原の文化を発信できたところであります。

また、先月20日、21日の2日間、本市で開催いたしました「**第13回 雪舟サミット**」では、雪舟ゆかりの4市1町を本市にお迎えし、山形大学の宮島新一教授により基調講演やサミット会議でまちづくりについて意見交換を行うなど関係自治体との連携を図ることができました。

次に、今月5日をもって閉会いたしました**田中美術館特別展「岡倉天心と日本彫刻会」**であります。若き田中先生が大きな飛躍を遂げた「日本彫刻会」の全貌を初めて知ることができると評判を呼び、市内外の多くの芸術ファンを魅了し好評をいただいたところであります。

次に、**交通事故の防止**についてであります。

年末年始は、交通事故の発生しやすい時期であることから、恒例の年末年始の交通事故防止県民運動が展開される中、皆様には、より一層交通安全に努めていただきますようお願い申し上げます。



この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙2,900円日曜版800円)